

## 高等部

### (1) 高等部の教育目標

- ① 自己の健康管理能力を高める。
- ② 自ら学び、学力の向上と職業能力の強化に努める。
- ③ 自己の確立と協調性の育成に努める。
- ④ 最後までねばり強く努力し成し遂げる姿勢を育む。
- ⑤ 社会人としての自覚と豊かな人間性の育成に努める。

### (2) 教育課程の編成方針

新学習指導要領及び本校教育課程編成の基本方針を踏まえ、生徒の障害の状態及び発達段階や特性を十分把握し卒業後の「自立と社会参加」を常に意識した教育活動を展開するための教育課程を弾力的に編成する。

#### 【普通科】

- ① 高等学校学習指導要領に準じた教育課程（I 課程）を基本に、生徒の実態に応じて弾力的に編成する。
- ② 一般学級は I 課程と設置し、次のような方針で編成する。
  - I 課程 A：各教科・科目を生徒の実態を考慮して編成する。  
就業体験を各学年 1 回（3 日程度）実施する。1 年生は校内実習。
  - I 課程 B：学習到達度を考慮し、生徒の実態に応じて職業的内容や下学年適用の教育課程を編成する。  
就業体験は、基本的に I 課程 A に準ずる。就職希望の生徒に関しては、3 年次に 5 日間の 2 回実施する。
- ③ 重複障害学級は「特別支援学校学習指導要領」をもとに編成する。
  - II 課程：知的障害特別支援学校の教育課程に基づき編成する。
  - III 課程：知的障害特別支援学校の教育課程と自立活動を主とした教育課程を編成する。
  - ※生徒の障害の状態等に応じて教科及び自立活動や各教科等を合わせた指導形態を適切に定める。
  - ※個別の指導計画を作成し、個々に合った指導の充実を図るよう弾力的に編成する。
  - ※就業体験は 1～2 年生は 5 日間を年に 1 回実施で、3 年生は 5 日間を 2 回実施する。1 年生は校内実習。
- ④ 生徒個々の視覚障害の状態や実態等に十分配慮し、幼、小、中、高、連携のもと一貫性のあるカリキュラム・マネジメントの視点も取り入れた編成を行う。又、中途視覚障害者に対する教育的内容を充分考慮する。
- ⑤ R-PDCA サイクルに基づく「実態把握」により、目標設定と指導内容、方法の充実及び客観的な「指導と評価の一体化」の実施など、個に応じた指導の充実にも努めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。
- ⑥ 集団行動、体験学習、就業体験、交流及び共同学習等を計画的に位置づけた編成を行う。
- ⑦ 道徳教育については、学習指導要領の趣旨を踏まえ、学校教育活動全体を通し道徳的心情を含む態度の定着を図るとともに道徳的实践力を高める。
- ⑧ 特別活動については、生徒の個性を伸ばし個人と集団の正しいあり方を学ばせることにより、

集団生活に対する関心と理解を深め、調和のある人間育成をめざす。また、自主的に物事を考え、決定した事柄を、責任をもって実践し、積極的に社会に参加する態度を養う。

- ⑨ 自立活動、各教科等にわたり「個別の指導計画」を作成し、個々の障害による学習・生活上の困難を改善又は克服するのに即した個に応じた指導が図れるように編成する。
- ⑩ 総合的な学習の時間については、学習指導要領の趣旨をふまえ弾力的運用ができるようにする。
- ⑪ 幼児児童生徒の入学から卒業後までの一貫した指導体制の確立と一人一人のニーズに応える「個別の教育支援計画」を活用し、家庭、寄宿舎、医療、福祉機関、地域社会等との連携及び指導の充実を図る。

#### 【専攻科】

専攻科理療科においては、「あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師」、専攻科保健理療科においては、「あん摩マッサージ指圧師」になるために必要な知識と技術の修得を図るとともに国家試験も配慮して編成する。実習については、校内・校外臨床実習、就業体験実習、病院・治療院等での研修が効果的に行われるよう系統的に編成する。

#### (3) 各教科等の指導の重点（各教科等の重点、基本方針等）

視覚障害者である生徒に対する教育を行う特別支援学校として、以下の点に留意しながら「主体的で対話的で深い学び」の実現にむけた教育を行う。

- ① 生徒の視覚障害の状態等に応じて、点字又は普通の文字等による的確な理解と豊かな表現力を一層養う。なお、点字を常用して学習する生徒に対しても、漢字・漢語の意味や構成等についての理解を一層促すため、適切な指導を行う。
- ② 視覚的なイメージを伴わないと理解が困難な事象や習得が難しい技能については、既習の内容や経験と関連付けながら、具体例を示すなど指導方法を工夫して、理解を深め習得を促すようにする。
- ③ 生徒の視覚障害の状態等に応じて、指導内容を適切に精選し、基礎的・基本的な内容事項を確実に習得するとともに、考えを深めていくことができるように指導する。
- ④ 視覚補助具やコンピュータ等の情報機器、触覚教材、拡大教材及び音声教材等各種教材の活用を通して、生徒が効率的に多様な情報を収集・整理し、主体的な学習ができるようにするなど、生徒の視覚障害の状態等を考慮した指導方法を工夫する。また、必要に応じて遠隔授業等による学習保障に努める。
- ⑤ 生徒が空間や時間の概念を活用して場の状況や活動の過程等を的確に把握できるよう配慮し、見通しをもって積極的な学習活動を展開できるようにする。
- ⑥ 高等学校を卒業した者が、社会経験を経るなどした後に、専門学科又は専攻科に入学した場合においては、その社会経験等を踏まえた指導内容となるよう工夫する。

#### 【普通科】

<一般学級：I 課程 A・B>

##### ① 各教科

###### ア 国語

- 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- 社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

- 言語感覚を磨き、言語文化の担い手としての自覚をもち、国語を尊重してその能力の向上をはかる態度を養う。

#### イ 地理・歴史

- 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
- 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それを基に議論したりする力を養う。
- 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

#### ウ 公民

- 現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、現代社会に生きる人間としての在り方や生き方についての自覚を深める。

#### エ 数学

- 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象の数学化や、数学的に解釈するなど、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
- 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

#### オ 理科

- 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身につけるようにする。
- 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

#### カ 保健体育

- 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。
- 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。
- 渉外にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

## キ 音楽

- 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
- 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## ク 美術・工芸

- 対象や事象を捉える創造的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練り、価値意識をもって美術や工芸に対する見方や感じ方を深める。
- 主体的に美術工芸の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術工芸の伝統や文化に親しみ、生活や社会を心豊かにするために工夫する態度を養う。

## ケ 外国語（英語）

- 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、英語を「聞く」、「読む」、「話す（やり取り）」、「話す（発表）」、「書く」の5つの言語活動を通して、実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、基本的な語彙や文法の知識を活用して、情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や聞き手の意図などを的確に理解し、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 英語の背景にある多様な文化や考え方に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

## コ 家庭

- 生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。
- 自分の生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- 身の回りの様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

## サ 情報

- 様々なメディアの特性やわかりやすい情報の伝え方についての学習活動を通して、効果的

なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報化社会のマナーやモラルを身に付け、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。

- 情報技術を活用して課題を発見・解決する学習活動を通して、様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
- コンピュータや情報ネットワーク・データベースの仕組みとプログラミングの学習を通して、情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

#### シ 産業

- 産業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。
- 産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 職業人としての必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

#### ② 道徳

学校の教育活動全体を通じて、広い視野に立って自ら考え、判断・行動できる力、社会の中の一員として義務を果たし責任を重んじて、主体的に生きようとする態度を養う。

#### ③ 特別活動

- ア 多様な他者と協働する様々な集団生活の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- イ 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するための話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。
- ウ 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

#### ④ 自立活動

- 個別の指導計画に基づき、他の教科等との関連を密にしながら、指導の工夫・改善に努める。
- 自己の障害・特性の理解を深め、自ら生活環境に主体的に働きかけ、より過ごしやすい生活環境を整える力を高める。
- 弱視レンズ等視覚補助具を利用し保有する視覚を効果的に活用してより良く見ようとする意識や技能の向上を図る。
- 触察を通して、感覚を総合的に活用しながら細部まで確実にとらえようとする態度や能力を高める。
- 多様な運動を通して身体座標軸・空間座標軸の形成を図るとともに、運動動作の基本的技能の修得と体力の向上、運動量の確保を図る。また、日常生活や就業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切に身体を動かす習慣を養う。
- 自己の気持ちや情緒をコントロールし、変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲の向上を図る。
- 校外学習や就業体験を通して、自己理解を深め、他者の意図や感情を的確に把握するとともに

に、その場に応じて適切に行動できる態度や習慣を養う。

- 保有する感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握し、環境と自己との関係を理解して、的確に判断し行動する力を育てる。
- 「読み、書き、話す」に関する支援機器の活用方法を学びながら、情報保証を図り、コミュニケーション能力を育てる。
- 自分の意見や考えを、相手に明確に伝えることのできる能力及び、他者の意見や考えを受け入れる（聴く）能力を高める。
- 使用文字（点字・漢字）の習熟を図り、学習活動全体に効果的に活用できるようにする。
- パソコンや点字ディスプレイ、タブレット機器等の ICT 機器を活用し、学習や日常生活に活かせるようにする。

#### ⑤ 総合的な探究の時間

- ア 探究の課程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- イ 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- ウ 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

#### <重複障害学級：Ⅱ課程 A・B>

##### ① 各教科

###### ア 国語

- 社会生活に必要な国語について、適切に使うことができるようにする。
- 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。

###### イ 社会

- 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、様々な資料や具体的な活動を通して理解する。
- 社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- 社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養う。

###### ウ 数学

- 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。
- 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表したりする力を養う。
- 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。

## エ 理科

- 自然の事物・事象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけるようにする。
- 観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。
- 自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。

## オ 音楽

- 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について知り、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。
- 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりによさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
- 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## カ 美術

- 表現方法を創意工夫し、感覚機能を活用して創造的に表すことができるようにする。
- 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を深めたりする。
- 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

## キ 保健体育

- 各種の運動の楽しさや喜びを深く味わい、健康・安全に関する理解を深めるとともに、基本的な動きや技能を身に付けるようにする。
- 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- 各種の運動におけるきまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力し、運動に親しむ態度を養う。

## ク 家庭

- 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。
- 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。

## ケ 英語

- 英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に

理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

- 英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

#### コ 職業

- 職業に関する事柄について理解するとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。
- 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。
- よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。

#### ② 道徳科（3年生は道徳）

- 障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服して、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養う。
- 他人を思いやり、励まし合うとともに互いの理解を深め、協力し合う心を育てる。
- 約束や決まりを守り、社会の一員としての公德心を育てる。

#### ③ 特別活動

- ア 他者と協働する様々な集団活動を行う上で必要となることを理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。
- イ 学校での生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力する態度を養う。
- ウ 集団活動を通して身に付けたことを生かして、自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践することに、自主的、実践的に取り組む態度を養う。

#### ④ 自立活動

- 個別の指導計画に基づき、他の教科等との関連を密にしながら、指導の工夫・改善に努める。
- 学校生活のリズムを整え自らの健康状態を把握し、教師に伝える態度を養う。
- 自己の障害・特性の理解を深め、自ら生活環境に主体的に働きかけ、より過ごしやすい生活環境を整える力を高める。
- 弱視レンズ等視覚補助具を利用し保有する視覚を効果的に活用してより良く見ようとする意識や技能の向上を図る。
- 触察を通して、感覚を総合的に活用しながら細部まで確実にとらえようとする態度や能力を高める。
- 多様な運動を通してボディイメージと身体座標軸・空間座標軸の形成を図るとともに、運動動作の基本的技能の修得と体力の向上、運動量の確保を図る。また、卒業後の生活を見据えた基本的な動作を確立し、手指機能の向上を図る。
- 使用文字（点字・漢字）の習熟を図り、学習活動全体に効果的に活用できるようにする。
- パソコンや点字ディスプレイ、タブレット機器等の ICT 機器を活用し、学習や日常生活に活かせるようにする。
- 情緒の安定を図り、対人関係を円滑にし、社会参加の基盤を培う。
- 校外学習や就業体験を通して、相手や場面に応じた適切な言葉遣いや態度を養う。
- 障害や健康に関する自己理解を深め、周囲の状況や場面に応じた的確な判断を行動、援助依

頼をする力を養う。

⑤ 総合的な探究の時間

ア 近隣の高等学校の生徒や他県の視覚特別支援学校との交流及び共同学習に取り組む環境を整え、積極的に活動する姿勢を養う。

イ 各教科等の学習で培われた資質・能力を総合的に関連付けながら、校内実習や就業体験の場などで経験を積み、生徒が自らの課題を解決できるようにする。

(指導の形態として)

⑥ 各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

- 基本的な生活習慣の確立を図り、身近な処理能力を高める。
- 生活の中で見通しを持ち、学んだことを主体的に生活に生かす態度を育てる。
- 日常生活や社会生活におけるマナーやルールを理解を深め、より自主的、発展的に社会生活に参加する意欲や態度を養う。

イ 生活単元学習

- 社会や季節の行事に関心を持ち、積極的に参加する態度を育て、生活経験を豊かにする。
- 社会生活に必要なルールやマナーを身につけ、自分と身近な社会との関わりに関心や興味を持つ態度を育てる。
- 生活経験の拡大を図る中で、自然や生物に対して興味関心を持つとともに、対話や協働する意欲を育てる。

ウ 作業学習

- 実践的・体験的な作業を通して、よりよい生活の実現に向けて工夫する資質・能力を育成する。
- 作業学習を通して働く喜びや達成感を味わうことで、自立する力を高め、将来の生活に係る技能を身につけるようにする。
- 将来の生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践する力を養う。

<重複障害学級：Ⅱ課程 C>

① 各教科

ア 国語

- 日常生活に必要な身近な言葉を身につける。
- 日常生活の関わりの中で、伝えあい、自分の思いをもつ事ができるようにする。
- 読み聞かせに親しみ、言葉でのやりとりを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

イ 社会

- 自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする
- 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会及び自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする
- 身近な人々や社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う

## ウ 数学

- 身の回りのものの形に着目し、図形の違いが分かるようにするための技能を身につけるようにする。
- 身の回りものに関心をもち分類したりして形の性質に気づく力を養う。
- 数量や図形に関心をもち楽しさや良さを感じながら興味を持って学ぶ態度を養う。

## エ 理科

- 自分自身、身近な人々や自然の特徴やよさ、それらの関わりに気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする
- 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々や自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする
- 身近な人々や自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしていたりする態度を養う。

## オ 音楽

- 曲想と音楽の構造や背景などとの関わりについて触れ、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに感じながら音楽を味わって聴くことができるようにする。
- 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

## カ 美術

- 造形的な視点について触れ、表現方法を創意工夫し、創造的に表す工程を体感する。
- 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて触れ、豊かに発想したり、美術や美術文化に触れる。
- 美術の創造活動の喜びを味わい、美術に触れ、心豊かな生活を楽しむ態度を養う。

## キ 保健体育

- 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自分の生活における健康・安全に留意して、各種運動に親しむ態度を養う。
- 各種運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーを守り、自己の役割を果たし仲間と協力し合いながら活動に取り組む態度を養う。
- 各種運動を通して心身の調和的な発達を促し、体を動かそうとする意欲を育てる。

## ク 家庭

- 生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住について体験を通して学習する。
- 生活を通して、自分でできることを増やしていこうとする力を養う
- 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、取り組んでいこうとする実践的な態度を養う。

## ケ 英語

- 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気付き、外国語の音声に慣れ親しむようにする。
- 身近で簡単な事柄について、外国語に触れる。
- 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーション

ーションを図ろうとする態度を養う。

コ 職業

- 自分の役割を理解し、実践できる力を身につける。
- 将来の職業生活を見据え、やり続ける体力や気持ちを育む。
- よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への参画に向けて、生活を工夫しようとする実践的な態度を養う。

② 道徳科 (3年生は道徳)

- ア 障害による生活上の困難を改善・克服して、自分らしく生きようとする意欲を高め、基本的な生活態度を養う。
- イ 他人を思いやり、みんなと仲良く協力し合う心を育てる。
- ウ 約束や決まりを守り、公德心を育てる。

③ 特別活動

- ア 校内外での集団活動や地域社会との交流を通して、他者と関わろうとする態度、社会性や豊かな人間性を育む。
- イ 生徒の体験的な活動を通して経験を広め、積極的な態度を養う。
- ウ 学校・学部行事やその他の実践的活動を通して個々の役割の大切さを理解し、集団の一員としての自覚を身につける。

④ 自立活動

- 個別の指導計画に基づき、他の教科等との関連を密にしながら、指導の工夫・改善に努める。
- 生活リズムを整え、規則正しい生活習慣の形成と健康状態の維持・改善を図る。
- 音源に向かって手を伸ばし探索したり、直進したり、手による伝い歩きや安全な手引きのされ方を学び、移動能力の基礎を養う。
- 場に応じた適切な言葉かけや支援を行うことで情緒の安定を図り、変化に対応できる態度を育てる。
- 他者との関わりや集団への参加の場面を持つことで、よりよい人間関係の形成に繋げる。
- 保有する感覚を活用して周囲の状況を把握し、対応できる力を育てる。
- 様々な運動を通してボディイメージと日常生活に必要な基本動作を培い、体力の向上、運動量の確保を図り活動の幅を広げる
- 情緒の安定を図りながら、いろいろな場面において他者とコミュニケーションをとる意欲や能力を育てる。

(指導の形態として)

⑤ 各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

- 日常生活の基本的なきまりや日課に沿って活動できる生活態度を育てる。
- 生活を営む上で必要な身近処理能力など、基本的生活習慣の形成を図る。
- 集団生活をする上で、個々の役割を理解する態度を養う。

イ 生活単元学習

- 季節的行事にかかわる活動を通して生活経験を豊かにする。
- 校外での体験を通して公共のルールやマナーを身につけ、自分と身近な社会との関わり

関心や興味を持つ態度を育てる。

- 身近な自然の中で活動し、自然や作物に対して興味関心を引き出す。

<重複障害学級：Ⅲ課程（令和3年度入学生）>

① 各教科

ア 国語

- 日常生活に必要な身近な言葉を身につける。
- 言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養う。
- 言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。

イ 社会

- 活動や体験の過程において、自分自身や身近な人々、社会の特徴に関心をもつことが出来るようにする。
- 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。
- 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、社会に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。

ウ 数学

- 身の回りのものの上下や前後、形の違いに気付くことができるようにする。
- 身の回りにあるもの同士を対応させたり、組み合わせたりするなど、数量に関心を持って関わる力を養う。
- 数量や図形に気づき、数学の学習に関心をもって取り組もうとする態度を養う。

エ 理科

- 活動や体験の過程において、自分自身や身近な人々、自然の特徴に関心をもつことが出来るようにする。
- 自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、自然と自分との関わりについて関心を持ち、感じたことを伝えようとする。
- 自分のことに取り組もうとしたり、身近な人々、自然に関心を持ち、意欲をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。

オ 音楽

- 音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心に向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。
- 音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。
- 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。

カ 美術

- 造形的な視点について触れ、表現方法を創意工夫し、創造的に表す工程を体感する。
- 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて触れ、豊かに発想したり、美術や美術文化に触れる。
- 美術の創造活動の喜びを味わい、美術に触れ、心豊かな生活を楽しむ態度を養う。

#### キ 保健体育

- 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、自分の生活における健康・安全に留意して、各種運動に親しむ態度を養う。
- 各種運動における多様な経験を通して、きまりやルール、マナーを守り、自己の役割を果たし仲間と協力し合いながら活動に取り組む態度を養う。
- 各種運動を通して心身の調和的な発達を促し、体を動かそうとする意欲を育てる。

#### ク 家庭

- 自分を支えてくれる家族・家庭の大切さに気づき、生活に欠かせない着るもの、食べるもの、住む場所についての関心を高める。
- 身の回りの生活の中で、自分でできそうなことは見つけ、周囲の協力を得ながら、前向きに取り組もうとする。
- さまざまな人々との関わりを通して、地域社会に参画し、よりよい生活を実現しようという態度を養う。

#### ケ 英語

- 外国語を用いた体験的な活動を通して、日本語と外国語の音声の違いなどに気づき、外国語の音声に慣れ親しむようにする。
- 身近で簡単な事柄について、外国語に触れる。
- 外国語を通して、外国の文化などに触れながら、言語への関心を高め、進んでコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

#### コ 職業

- 自分の役割を理解し、協働しようとする姿勢を身に付ける。
- 将来の職業生活を見据え、課題に取り組もうとする気持ちを育む。
- 職業生活の実現に向けて、よりよい生活を送るために工夫しようとする態度を養う。

### ② 道徳科

- ア 自分らしく生きようとする意欲を高まるよう、基本的な生活態度を養う。
- イ 友達の存在を確認し、ともにすごし意識できる心を育てる。

### ③ 特別活動

- ア 多様な他者との交流を通して、集団で体験する態度や社会生活でのマナーを身に付ける。
- イ 生徒の体験的な活動を通して経験を広め、積極的な態度を養う。
- ウ 学校・学部行事やその他の実践的活動を通して個々の役割を経験し、自己の課題に取り組もうとする態度を養う。

### ④ 自立活動

- 個別の指導計画に基づき、他の教科等との関連を密にしながら、指導の工夫・改善に努める。
- 生活リズムを整え、規則正しい生活習慣の形成と健康状態の維持・改善を図る。
- 音源に反応したり、手を伸ばし探索したり、手による探索、触り方の基礎を養う。
- 場に応じた適切な言葉かけや支援を行うことで情緒の安定を図り、変化に対応できる態度を育てる。
- 他者との関わりや集団への参加の場面を持つことで、よりよい人間関係の形成に繋げる。
- 保有する感覚を活用して周囲の状況を把握し、対応しようとする力を育てる。

- 様々な運動を通してボディイメージと日常生活に必要な基本動作を培い、体力の向上、運動量の確保を図り活動の幅を広げる
- 情緒の安定を図りながら、いろいろな場面において他者とコミュニケーションをとる意欲や能力を育てる。

(指導の形態として)

⑤ 各教科等を合わせた指導

ア 日常生活の指導

- 日常生活の基本的なきまりや日課に沿って活動できる生活態度を育てる。
- 生活を営む上で必要な身辺処理能力など、基本的生活習慣の形成を図る。
- 集団生活をする上で、個々の役割を理解する態度を養う。

イ 生活単元学習

- 季節的行事にかかわる活動を通して生活経験を豊かにする。
- 校外での体験を通して公共のルールやマナーに触れ、自分と身近な社会との関わりに関心や興味を持つ態度を育てる。
- 身近な自然の中で活動し、自然や作物に対して興味関心を引き出す。

ウ 作業学習

- 体験的な作業を通して、よりよい生活を送るために工夫する態度を養う。
- 作業学習を通して仲間と協働する喜びや達成感を味わうことで、様々な活動に興味・関心を持つ気持ちを育む。
- 将来の生活を見据え、課題解決に向けて物事に取り組もうとする姿勢を身に付ける。

【専攻科】

<保健医療科>

「あん摩マッサージ指圧師」として自立できるよう指導し、独立開業をはじめ、病院・施術所勤務・ヘルスキーパー等、多様な職種に就けるようにする。

① 基礎分野

ア 科学的思考の基盤、人間と生活

実務に即して考えを適切に表現する方法、情報の活用に関する知識と技術を習得させ、保健医療の分野で情報手段を主体的に活用する能力と態度、及び健康の維持増進に必要な運動の知識と技術を習得し、あん摩マッサージ指圧師として幅広い能力と態度を育てる。

② 専門基礎分野

ア 医療と社会

医療の歴史的背景の下に現代医学の在り方と制度を概観し、あん摩マッサージ指圧師にかかわる法律と医療の法体系のあらましを理解する。

イ 人体の構造と機能

人体諸器官の形態と構造及び機能の基本的な事項を理解し、人体を対象とする理療にとって必要な基礎的・基本的知識を習得する。

ウ 疾病の成り立ちと予防

健康と疾病の概念、健康と疾病との間の連続性、健康の保持増進、疾病の成り立ちと予防などに関する基本的な知識を習得する。

## エ 生活と疾病

疾病に関する知識と現代医学で行われている診察法や治療法の概要を理解する。

### ③ 専門分野

#### ア 基礎保健理療

あん摩マツサージ指圧施術の背景となっている東洋医学の概念を理解するとともに、科学的治効理論を明らかにして、あん摩マツサージ指圧施術のもつ意義の重要性を理解するよう指導する。

#### イ 臨床保健理療

東洋医学と現代医学の立場から内容を有機的に関連させ、あん摩マツサージ指圧施術の対象となる主な症状についての患者への対応、診察法や治療法、患者の生活管理などを具体的に理解するよう指導する。

#### ウ 地域保健理療と保健理療経営

高齢化が進み、生活習慣病が急増する現代社会に焦点を当て、地域医療、地域福祉におけるあん摩マツサージ指圧業務の意義と役割を理解させ、併せて、施術所の現代的経営の在り方を考えるようにする。

#### エ 保健理療基礎実習

施術者としての基本的な態度・習慣を身に付けることと、あん摩マツサージ指圧実技の基本が確実に身に付くよう指導する。

#### オ 保健理療臨床実習

臨床において、あん摩マツサージ指圧に関する知識と技術を総合した施術を行うことのできる能力を養い、あん摩マツサージ指圧業務の意義と役割を体験的に理解し、職業人としての基本的態度が確立できるように指導する。

#### カ 課題研究

生徒自らが創意工夫し、あるいは課題を解決して目標が達成できるよう指導する。

## <理療科>

「あん摩マツサージ指圧師・はり師・きゆう師」として自立できるよう指導し、独立開業をはじめ、病院・施術所勤務・ヘルスキーパー等、多様な職種に就けるようにする。

### ① 基礎分野

#### ア 科学的思考の基盤、人間と生活

実務に即して考えを適切に表現する方法、情報の活用に関する知識と技術を習得させ、理療の分野で情報手段を主体的に活用する能力と態度、及び健康の維持増進に必要な運動の知識と技術を習得し、あん摩マツサージ指圧師・はり師・きゆう師として幅広い能力と態度を育てる。

### ② 専門基礎分野

#### ア 医療と社会

医療の歴史的背景の下に現代医学の在り方と制度を概観し、あん摩マツサージ指圧師・はり師・きゆう師にかかわる法律と医療の法体系のあらましを理解する

#### イ 人体の構造と機能

人体諸器官の形態と構造及び機能の基本的な事項を理解し、人体を対象とする理療にとって必要な基礎的・基本的知識を習得する。

#### ウ 疾病の成り立ちと予防

健康と疾病の概念、健康と疾病との間の連続性、健康の保持増進、疾病の成り立ちと予防などに関する基本的な知識を習得する。

#### エ 生活と疾病

疾病に関する知識と現代医学で行われている診察法や治療法の概要を理解する。

### ③ 専門分野

#### ア 基礎理療学

あん摩マツサージ指圧・はり・きゆう施術の背景となっている東洋医学の概念を理解するとともに、科学的治効理論を明らかにして、あん摩マツサージ指圧・はり・きゆう施術のもつ意義の重要性を理解するよう指導する。

#### イ 臨床理療学

東洋医学と現代医学の立場から内容を有機的に関連させ、あん摩マツサージ指圧・はり・きゆう施術の対象となる主な症状についての患者への対応、診察法や治療法、患者の生活管理などを具体的に理解するよう指導する。

#### ウ 地域理療と理療経営

高齢化が進み、生活習慣病が急増する現代社会に焦点を当て、地域医療、地域福祉におけるあん摩マツサージ指圧・はり・きゆう業務の意義と役割を理解させ、併せて施術所の現代的経営の在り方を考えるようにする。

#### エ 理療基礎実習

施術者としての基本的な態度・習慣を身に付けることと、あん摩マツサージ指圧・はり・きゆう実技の基本が確実に身に付くよう指導する。

#### オ 理療臨床実習

臨床において、あん摩マツサージ指圧・はり・きゆうに関する知識と技術を総合した施術を行うことのできる能力を養い、あん摩マツサージ指圧・はり・きゆう業務の意義と役割を体験的に理解し、職業人としての基本的態度が確立できるように指導する。

#### カ 課題研究

生徒自らが創意工夫し、あるいは課題を解決して目標が達成できるよう指導する。

### (4) 交流及び共同学習の重点

- ① 他の特別支援学校や高等学校の生徒、地域社会の人々との交流及び共同学習を通して経験を広げ、社会性を養い、豊かな人間性を育てる。
- ② 交流及び共同学習を通して、互いを正しく理解し合い、よりよい人間関係を育てる。
- ③ 交流及び共同学習を通して、障害に対する正しい認識や理解を深める。

### (5) 生徒指導の重点

- ① 思春期・青年期特有の悩みをもつ生徒や中途視覚障害者に対して、不安や動揺を取り除くため、カウンセリングに努める。
- ② 校内において、児童生徒間のいじめの早期発見・未然防止に努める。
- ③ 自立や社会参加に向けて、マナーの指導に努める。
- ④ 他者の人格を認め、お互いに協力できる態度を養う。

(6) キャリア教育の重点

- ① 生徒個々の特性を生かし、社会自立に向けて絶えず適切な指導・助言をするように努める。
- ② 生徒一人ひとりの勤労観、職業観を育てるため、幼小中学部との連携を密にし、発達段階に応じたキャリア教育を実施する。
- ③ 家庭や地域と連携し、就業体験等の体験的な学習の充実を図る。
- ④ ハローワーク等の就業支援機関を活用し、生徒のキャリア発達やキャリア実現に役立てる。
- ⑤ 個別移行支援計画を、適切な進路選択やスムーズな移行に活用する。
- ⑥ キャリアパスポートを活用し、学習の振り返りやキャリアへの意識を高め、自己のキャリア形成を見通し、自己評価していく。

(7) 生涯学習への意欲を高める指導の重点

- ① 日常から生活課題を常に探究し、生活に密着した授業実践を行い、潤いと生きがいのある社会の実現に繋げる。
- ② 生活課題を自主的に解決していこうとする態度を育成し、自ら考え行動できる生徒の育成を図る。
- ③ 交流学习等で実践的な活動や発表等も組み込み主体的・協働的な学習を行い、多様な人々との交流を図る。
- ④ 卒業後を見据え、地域の教育資源となる関係団体と繋がり、学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力を図る。

(8) ICT 機器利活用の重点

- ① 生徒一人一人の教育的ニーズに合わせて積極的な ICT 機器の活用に取り組む。
- ② 情報モラルを身につけ、点字ディスプレイ等含めた ICT 機器の情報手段を適切かつ実践的、主体的に活用できるように、あらゆる機会を通して学習活動の充実に努める。
- ③ 情報通信ネットワークを活用し、学校間及び学校と家庭や地域社会との連携等を図ると共に、交流、協働学習、オンライン授業等の教育活動の展開に努める。

(9) 安全教育の重点

- ① 健康生活に必要な保健の知識を習得し、心身の健全な発達と健康の保持増進に努める。
- ② 自己の健康状態について常に理解と関心を持ち、視力低下の予防及び疾患（合併症など）の悪化防止に努める。
- ③ 日常生活の中で危険を予測する能力を養い、安全な行動ができるようにする。
- ④ 非常災害時に対処し得る知識・能力の向上を図る。
- ⑤ 校内の整理整頓及び設備の改善充実を図り、事故の防止に努める。
- ⑥ 基本的な感染症対策を図るとともに、実態に応じた健康教育の推進を図る。

本科普通科 I 課程 A 令和2年度入学者

各教科 科目等	類型標準 科目名 単位数		学 年						合計	
			1年	2年		3年				
				文系	理系	文系	理系	文系	理系	
普通教育に関する各教科・科目	国語	国語総合	4	4	0	0	0	0	4	4
		国語表現	3	0	0	0	2	③	2	③
		現代文B	4	0	2	2	2	2	4	4
		古典B	4	0	2	2	2	2	4	4
	地理 歴史	世界史A	2	2	0	0	0	0	2	2
		日本史B	4	0	②	②	②	②	④	④
		地理B	4	0	②	②	②	②	④	④
	公民	現代社会	2	0	0	0	2	2	2	2
	数学	数学Ⅰ	3	3	0	0	0	0	3	3
		数学Ⅱ	4	0	4	4	0	0	4	4
		数学Ⅲ	5	0	0	0	0	⑤	0	⑤
		数学A	2	2	0	0	0	0	2	2
		数学B	2	0	0	0	2	2	2	2
	理科	物理基礎	2	0	0	2	0	0	0	2
		物 理	4	0	0	0	0	⑤	0	⑤
		化学基礎	2	2	0	0	0	0	2	2
		化 学	4	0	0	0	0	⑤	0	⑤
		生物基礎	2	0	2	2	0	0	2	2
		生 物	4	0	0	0	0	⑤	0	⑤
		地学基礎	2	0	0	0	2	0	2	0
	保健 体育	体 育	7~8	3	2	2	2	2	7	7
		保 健	2	0	1	1	1	1	2	2
	芸術	音楽Ⅰ	2	2	0	0	0	0	2	2
		音楽Ⅱ	2	0	2	2	0	0	2	2
		音楽Ⅲ	2	0	0	0	2	0	2	0
美術Ⅰ		2	2	0	0	0	0	2	2	
美術Ⅱ		2	0	2	0	0	0	2	0	
美術Ⅲ		2	0	0	0	2	0	2	0	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3	0	0	0	0	3	3	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4	0	2	2	2	2	4	4	
家庭	家庭総合	4	2	2	2	0	0	4	4	
情報	社会と情報	2	0	2	2	2	②	4	2~4	
各教科・科目 小計			25	25	25	25	25	75	75	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	3	3	
自立活動			3	3	3	3	3	9	9	
総合的な探求の時間			1	1	1	1	1	3	3	
合 計			30	30	30	30	30	90	90	
年間総授業時数			1050	1050	1050	1050	1050	3150	3150	

○数字は選択科目。

2年生で文系又は理系のどちらかを選択する。

2年生で「日本史B」又は「地理B」のどちらかを選択し、3年生でも同じ科目を継続履修する。

3年生理系コースを履修している生徒は、「物理」「化学」「生物」から1科目を選択する。

3年生理系コースを履修している生徒で、「数学Ⅲ」を履修しない場合は、「国語表現」及び「社会と情報」の2つを履修する。

本科普通科 I 課程 A 令和3年度入学者

各教科 科目等	類型標準 科目名 単位数		学 年					合計		
			1年	2年		3年		文系	理系	
				文系	理系	文系	理系			
普通教育に関する各教科・科目	国語	国語総合	4	4	0	0	0	0	4	4
		国語表現	3	0	0	0	2	③	2	③
		現代文B	4	0	2	2	2	2	4	4
		古典B	4	0	2	2	2	2	4	4
	地理 歴史	世界史A	2	2	0	0	0	0	2	2
		日本史B	4	0	②	②	②	②	④	④
		地理B	4	0	②	②	②	②	④	④
	公民	現代社会	2	0	0	0	2	2	2	2
	数学	数学Ⅰ	3	3	0	0	0	0	3	3
		数学Ⅱ	4	0	4	4	0	0	4	4
		数学Ⅲ	5	0	0	0	0	⑤	0	⑤
		数学A	2	2	0	0	0	0	2	2
		数学B	2	0	2	2	0	0	2	2
	理科	物理基礎	2	0	0	2	0	0	0	2
		物 理	4	0	0	0	0	⑤	0	⑤
		化学基礎	2	2	0	0	0	0	2	2
		化 学	4	0	0	0	0	⑤	0	⑤
		生物基礎	2	0	2	2	0	0	2	2
		生 物	4	0	0	0	0	⑤	0	⑤
地学基礎		2	0	0	0	2	0	2	0	
保健 体育	体 育	7~8	3	2	2	2	2	7	7	
	保 健	2	0	1	1	1	1	2	2	
芸術	音楽Ⅰ	2	2	0	0	0	0	2	2	
	音楽Ⅱ	2	0	2	2	0	0	2	2	
	音楽Ⅲ	2	0	0	0	2	0	2	0	
	美術Ⅰ	2	2	0	0	0	0	2	2	
	美術Ⅱ	2	0	2	0	0	0	2	0	
	美術Ⅲ	2	0	0	0	2	0	2	0	
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3	0	0	0	0	3	3	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4	0	2	2	2	2	4	4	
家庭	家庭総合	4	2	0	0	2	2	4	4	
情報	社会と情報	2	0	2	2	2	②	4	2~4	
各教科・科目 小計			25	25	25	25	25	75	75	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	3	3	
自立活動			3	3	3	3	3	9	9	
総合的な探求の時間			1	1	1	1	1	3	3	
合 計			30	30	30	30	30	90	90	
年間総授業時数			1050	1050	1050	1050	1050	3150	3150	

○数字は選択科目。

2年生で文系又は理系のどちらかを選択する。

2年生で「日本史B」又は「地理B」のどちらかを選択し、3年生でも同じ科目を継続履修する。

3年生理系コースを履修している生徒は、「物理」「化学」「生物」から1科目を選択する。

3年生理系コースを履修している生徒で、「数学Ⅲ」を履修しない場合は、「国語表現」及び「社会と情報」の2つを履修する。

本科普通科 I 課程 A 令和4年度入学者

各教科 科目等	類型標準 科目名 単位数		学 年					合計		
			1年	2年		3年				
				文系	理系	文系	理系	文系	理系	
普通教育に関する各教科・科目	国語	現代の国語	2	2	0	0	0	0	2	2
		言語文化	2	2	0	0	0	0	2	2
		文学国語	4	0	0	0	5	0	5	0
		国語表現	4	0	4	2	0	2	4	4
	地理 歴史	地理総合	2	0	0	0	2	2	2	2
		歴史総合	2	0	2	2	0	0	2	2
		日本史探求	2	0	0	0	3	3	3	3
	公民	公共	2	2	0	0	0	0	2	2
	数学	数学Ⅰ	3	3	0	0	0	0	3	3
		数学Ⅱ	4	0	4	4	0	0	4	4
		数学Ⅲ	3	0	0	0	0	3	0	3
		数学A	2	2	0	0	0	0	2	2
		数学B	2	0	0	2	2	0	2	2
		数学C	2	0	0	0	0	2	0	2
	理科	物理基礎	2	0	0	②	0	0	0	②
		物 理	4	0	0	0	0	④	0	④
		化学基礎	2	2	0	0	0	0	2	2
		化 学	4	0	0	0	0	④	0	④
		生物基礎	2	0	2	②	0	0	2	②
		生 物	4	0	0	0	0	④	0	④
		地学基礎	2	0	0	②	2	0	2	②
	地 学	2	0	0	0	0	④	0	④	
	保健 体育	体 育	7~8	2	2	2	3	3	7	7
		保 健	2	1	1	1	0	0	2	2
	芸術	音楽Ⅰ	2	2	0	0	0	0	2	2
		音楽Ⅱ	2	0	2	②	0	②	2	②
		音楽Ⅲ	2	0	0	0	2	②	2	②
		美術Ⅰ	2	2	0	0	0	0	2	2
		美術Ⅱ	2	0	2	②	0	②	2	②
		美術Ⅲ	2	0	0	0	2	②	2	②
外国語	コミュニケーション英語Ⅰ	3	3	0	0	0	0	3	3	
	コミュニケーション英語Ⅱ	4	0	2	2	2	2	4	4	
	家庭総合	4	2	2	2	0	0	4	4	
情報	情報Ⅰ	2	0	2	2	2	2	4	4	
各教科・科目 小計			25	25	25	25	25	75	75	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	1	1	3	3	
	自立活動		3	3	3	3	3	9	9	
	総合的な探求の時間		1	1	1	1	1	3	3	
合 計			30	30	30	30	30	90	90	
年間総授業時数			1050	1050	1050	1050	1050	3150	3150	

○数字は選択科目。

2年生で文系又は理系のどちらかを選択

2年生の理系コース生徒選択教科

「物理基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目4単位を選択。

「音楽Ⅱ」「美術Ⅱ」から1科目2単位を選択。

3年生の理系コース生徒選択教科

「物理」「化学」「生物」から2年次に基礎を履修した科目から1科目4単位を選択。

「音楽Ⅱ」「美術Ⅱ」から2年次に履修していない科目を選択、もしくは「美術Ⅲ」「音楽Ⅲ」から2年次にⅡを選択した科目のを選択。

本科普通科 I 課程 B 令和 4 年度入学者

各教科 科目等	類型 標準		1	2	3	備考
	科目名	単位数				
普通教育に関する各教科・科目	国語	○現代国語	2	3		
		○言語文化	2		3	
		国語表現	4			4
		実用国語	学校設定科目			①～②
	地理 歴史	○地理総合	2			2
		○歴史総合	2		2	
	公民	○公共	2	2		
	数学	数学 I	3	2	2	2
	理科	科学と人間生活	2	2	2	
		生物基礎	2			2
	保健 体育	体 育	7～8	2	2	3
		保 健	2	1	1	
	芸術	音楽 I	2	2		
		音楽 II	2		2	①～②
		美術 I	2	2		
		美術 II	2		2	①～②
	外国語	コミュニケーション英語 I	3	2	2	2
	家庭	家庭総合	4	2	2	2
情報	○情報 I	2	2	2	2	
産業	産業と社会	学校設定科目	2	2	2	
各教科・科目 小計			24	24	24	
特別活動	ホームルーム活動		1	1	1	
自立活動			4	4	4	
総合的な探究の時間			1	1	1	
合 計			30	30	30	
年間総授業時数			1050	1050	1050	

○数字は選択科目。

3年次に、「実用国語」「音楽 II」「美術 II」から 2～3 科目、計 4 単位を選択。

本科普通科 I 課程 B 令和4年度 3年次編入者

各教科 科目等	類型 標準		取得単位	3年次	備考
	科目名	単位数			
普通教育に関する各教科・科目	国語	国語 1	5	5	
		国語表現	4		2
		実用国語	学校設定科目		1
	地理 歴史	地理	2	3	
		世界史A	2		2
	公民	現代社会	2	4	
	数学	数学 1	3	5	
		代数幾何	3	3	
		数学B	2		2
	理科	理科 1	2	5	
		物理	2	3	
		化学	2	3	
		地学基礎	2		
	保健 体育	体 育	7~8	2	5
		保 健	2	1	1
	芸 術	音楽 I	2		2
		美術 I	2	2	
		美術 II	2		2
	外国語	英語 1	3	5	
		英語 2	3	3	
		英語 2 B	2	2	
		コミュニケーション英語 II	2		2
	家庭	家庭基礎	2		2
	情報	情報基礎	2	1	
		社会と情報	2		2
	産業	産業と社会	学校設定科目		
	各教科・科目 小計			47	23
特別活動	ホームルーム活動			1	
	自立活動			5	
	総合的な探究の時間			1	
	合 計			30	
	年間総授業時数			1050	

本科普通科 II 課程 A・B 令和2年度入学者

教科・領域		学年			備考
		1	2	3	
各 教 科	国語	70 (10)	70 (10)	70 (10)	保健体育は 実技のみ実施
	社会	70 (10)	70 (10)	70 (10)	
	数学	70 (10)	70 (10)	70 (10)	
	理科	70 (10)	70 (10)	70 (10)	
	音楽	70 (10)	70 (10)	70 (10)	
	美術	70 (10)	70 (10)	70 (10)	
	保健体育	70 (10)	70 (10)	70 (10)	
	家庭	35 (5)	35 (5)	35 (5)	
	英語	35 (5)	35 (5)	35 (5)	
	職業	70 (10)	70 (10)	70 (10)	
道徳科		0 (5)	0 (5)	0 (5)	道徳科は 学校教育全体を 通じて適切な指 導を行う
特別活動	ホームルーム活動	35 (5)	35 (5)	35 (5)	
自立活動		245 (5)	245 (5)	245 (5)	
総合的な探究の時間		35	35	35	
小計		945	945	945	
合計		1050	1050	1050	

【指導の形態】

	学 年	1	2	3	
各 教 科 等 を 合 わ せ た 指 導	生活単元学習	105	105	105	
	合計	105	105	105	

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

		1年					2年					3年					備考		
		総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導			総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導			総 時数	教科 別の 指導	合わせた 指導					
各教科等の指導	各教科	国語	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0		
		社会	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0		
		数学	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0		
		理科	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0		
		音楽	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0		
		美術	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0		
		保健体育	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0		
		職業	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0	80	70	10	日 生 作	0 10 0		
		家庭	40	35	5	日 生 作	0 5 0	40	35	5	日 生 作	0 5 0	40	35	5	日 生 作	0 5 0		
		外国語	40	35	5	日 生 作	0 5 0	40	35	5	日 生 作	0 5 0	40	35	5	日 生 作	0 5 0		
		情報	0	0	0	日 生 作	0 0 0	0	0	0	日 生 作	0 0 0	0	0	0	日 生 作	0 0 0		
		学設1																	
		学設2																	
	道徳科 (3年生は道徳)	5	0	5	日 生 作	0 5 0	5	0	5	日 生 作	0 5 0	5	0	5	日 生 作	0 5 0			
特別活動	ホーム ルーム活 動	40	35	5	日 生 作	0 5 0	40	35	5	日 生 作	0 5 0	40	35	5	日 生 作	0 5 0			
	自立活動	250	245	5	日 生 作	0 5 0	250	245	5	日 生 作	0 5 0	250	245	5	日 生 作	0 5 0			
総合的な探究の時間		35			35			35											
合計	教科別の指導で行う時数	945			945			945											
	合わせた指導で行う時数	105			105			105											
総時数		1050			1050			1050											

【指導形態】

日常生活の指導	0	0	0
生活単元学習	105	105	105
作業学習	0	0	0
合計	105	105	105

高等部〔知的障害代替〕

【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	備考
日常生活の指導	国語	0	0	0	
	社会	0	0	0	
	数学	0	0	0	
	理科	0	0	0	
	音楽	0	0	0	
	美術	0	0	0	
	保健体育	0	0	0	
	職業	0	0	0	
	家庭	0	0	0	
	外国語	0	0	0	
	情報	0	0	0	
	道徳	0	0	0	
	ホームルーム	0	0	0	
	自立活動	0	0	0	
合計	0	0	0		

生活単元学習	国語	10	10	10	
	社会	10	10	10	
	数学	10	10	10	
	理科	10	10	10	
	音楽	10	10	10	
	美術	10	10	10	
	保健体育	10	10	10	
	職業	10	10	10	
	家庭	5	5	5	
	外国語	5	5	5	
	情報	0	0	0	
	道徳	5	5	5	
	ホームルーム	5	5	5	
	自立活動	5	5	5	
合計	105	105	105		

作業学習	国語	0	0	0	
	社会	0	0	0	
	数学	0	0	0	
	理科	0	0	0	
	音楽	0	0	0	
	美術	0	0	0	
	保健体育	0	0	0	
	職業	0	0	0	
	家庭	0	0	0	
	外国語	0	0	0	
	情報	0	0	0	
	道徳	0	0	0	
	ホームルーム	0	0	0	
	自立活動	0	0	0	
合計	0	0	0		

合わせた指導 合計	105	105	105	
--------------	-----	-----	-----	--

本科普通科

Ⅱ課程A・B 令和4年度入学者

日：日常生活の指導

生：生活単元学習

作：作業学習

教科等	1年					2年					3年					備考	
	総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導				
各学科に共通する各教科	国語	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	体育理論・保健を含む
	社会	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	
	数学	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	
	理科	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	
	音楽	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	
	美術	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	
	保健体育	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	
	職業	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	
	家庭	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	
	外国語	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	70	70	0	日 生 作	0 0 0	
	情報	35	35	0	日 生 作	0 0 0	35	35	0	日 生 作	0 0 0	35	35	0	日 生 作	0 0 0	
	学校設定教科	0					0					0					
共通教科時数計	735	735				735	735				735	735					
道徳科	35	35	0	日 生 作	0 0 0	35	35	0	日 生 作	0 0 0	35	35	0	日 生 作	0 0 0		
特別活動	35	35	0	日 生 作	0 0 0	35	35	0	日 生 作	0 0 0	35	35	0	日 生 作	0 0 0		
自立活動	210	210	0	日 生 作	0 0 0	210	210	0	日 生 作	0 0 0	210	210	0	日 生 作	0 0 0		
総合的な探究の時間		35					35					35					
合計	教科別の指導で行う時数		1050				1050				1050						
	合わせた指導で行う時数			0			0				0						
	総時数		1050				1050				1050						

【指導形態】

日常生活の指導	0	0	0
生活単元学習	0	0	0
作業学習	0	0	0
合計	0	0	0

本科普通科 II課程C 令和3年度入学者  
 日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

		1年			2年			3年			備考					
		総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導	総 時数	教科別 の指導	合わせた 指導						
各教科等の指導	各教科	国語	45	0	45	日 35 生 10 作 0	45	0	45	日 35 生 10 作 0	45	0	45	日 35 生 10 作 0		
		社会	45	0	45	日 35 生 10 作 0	45	0	45	日 35 生 10 作 0	45	0	45	日 35 生 10 作 0		
		数学	45	0	45	日 35 生 10 作 0	45	0	45	日 35 生 10 作 0	45	0	45	日 35 生 10 作 0		
		理科	45	0	45	日 35 生 10 作 0	45	0	45	日 35 生 10 作 0	45	0	45	日 35 生 10 作 0		
		音楽	115	70	45	日 35 生 10 作 0	115	70	45	日 35 生 10 作 0	115	70	45	日 35 生 10 作 0		
		美術	115	70	45	日 35 生 10 作 0	115	70	45	日 35 生 10 作 0	115	70	45	日 35 生 10 作 0		
		保健体育	80	70	10	日 0 生 10 作 0	80	70	10	日 0 生 10 作 0	80	70	10	日 0 生 10 作 0		
		職業	10	0	10	日 0 生 10 作 0	10	0	10	日 0 生 10 作 0	10	0	10	日 0 生 10 作 0		
		家庭	40	0	40	日 35 生 5 作 0	40	0	40	日 35 生 5 作 0	40	0	40	日 35 生 5 作 0		
		外国語	5	0	5	日 0 生 5 作 0	5	0	5	日 0 生 5 作 0	5	0	5	日 0 生 5 作 0		
		情報	0	0	0	日 0 生 0 作 0	0	0	0	日 0 生 0 作 0	0	0	0	日 0 生 0 作 0		
		学設1														
		学設2														
	道徳科 (3年生は道徳)	40	0	40	日 35 生 5 作 0	40	0	40	日 35 生 5 作 0	40	0	40	日 35 生 5 作 0			
特別活動	ホーム ルーム活動	40	0	40	日 35 生 5 作 0	40	0	40	日 35 生 5 作 0	40	0	40	日 35 生 5 作 0			
	自立活動	425	385	40	日 35 生 5 作 0	425	385	40	日 35 生 5 作 0	425	385	40	日 35 生 5 作 0			
総合的な探究の時間		0			0			0								
合計	教科別の指導でを行う時数	595			595			595								
	合わせた指導でを行う時数	455			455			455								
総時数		1050			1050			1050								

【指導形態】

日常生活の指導	350	350	350
生活単元学習	105	105	105
作業学習	0	0	0
合計	455	455	455

高等部〔知的障害代替〕

【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	備考
日常生活の指導	国語	35	35	35	
	社会	35	35	35	
	数学	35	35	35	
	理科	35	35	35	
	音楽	35	35	35	
	美術	35	35	35	
	保健体育	0	0	0	
	職業	0	0	0	
	家庭	35	35	35	
	外国語	0	0	0	
	情報	0	0	0	
	道徳	35	35	35	
	ホームルーム	35	35	35	
	自立活動	35	35	35	
<b>合計</b>	<b>350</b>	<b>350</b>	<b>350</b>		

生活単元学習	国語	10	10	10	
	社会	10	10	10	
	数学	10	10	10	
	理科	10	10	10	
	音楽	10	10	10	
	美術	10	10	10	
	保健体育	10	10	10	
	職業	10	10	10	
	家庭	5	5	5	
	外国語	5	5	5	
	情報	0	0	0	
	道徳	5	5	5	
	ホームルーム	5	5	5	
	自立活動	5	5	5	
<b>合計</b>	<b>105</b>	<b>105</b>	<b>105</b>		

作業学習	国語	0	0	0	
	社会	0	0	0	
	数学	0	0	0	
	理科	0	0	0	
	音楽	0	0	0	
	美術	0	0	0	
	保健体育	0	0	0	
	職業	0	0	0	
	家庭	0	0	0	
	外国語	0	0	0	
	情報	0	0	0	
	道徳	0	0	0	
	ホームルーム	0	0	0	
	自立活動	0	0	0	
<b>合計</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>		

<b>合わせた指導合計</b>	<b>455</b>	<b>455</b>	<b>455</b>	
-----------------	------------	------------	------------	--

本科学普通科

Ⅱ課程C 令和4年度入学者

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

教科等	1年					2年					3年					備考
	総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			
各学科に共通する各教科	国語	80	70	10	日 0 生 10 作 0	80	70	10	日 0 生 10 作 0	80	70	10	日 0 生 10 作 0	体育理論・保健を含む		
	社会	45	35	10	日 0 生 10 作 0	45	35	10	日 0 生 10 作 0	45	35	10	日 0 生 10 作 0			
	数学	80	70	10	日 0 生 10 作 0	80	70	10	日 0 生 10 作 0	80	70	10	日 0 生 10 作 0			
	理科	45	35	10	日 0 生 10 作 0	45	35	10	日 0 生 10 作 0	45	35	10	日 0 生 10 作 0			
	音楽	105	105	0	日 0 生 0 作 0	105	105	0	日 0 生 0 作 0	105	105	0	日 0 生 0 作 0			
	美術	115	105	10	日 0 生 10 作 0	115	105	10	日 0 生 10 作 0	115	105	10	日 0 生 10 作 0			
	保健体育	105	105	0	日 0 生 0 作 0	105	105	0	日 0 生 0 作 0	105	105	0	日 0 生 0 作 0			
	職業	75	70	5	日 0 生 5 作 0	75	70	5	日 0 生 5 作 0	75	70	5	日 0 生 5 作 0			
	家庭	75	70	5	日 0 生 5 作 0	75	70	5	日 0 生 5 作 0	75	70	5	日 0 生 5 作 0			
	外国語	5	0	5	日 0 生 5 作 0	5	0	5	日 0 生 5 作 0	5	0	5	日 0 生 5 作 0			
	情報	0	0	0	日 0 生 0 作 0	0	0	0	日 0 生 0 作 0	0	0	0	日 0 生 0 作 0			
学校設定教科	0				0				0							
共通教科時数計	730	665			730	665			730	665						
道徳科	5	0	5	日 0 生 5 作 0	5	0	5	日 0 生 5 作 0	5	0	5	日 0 生 5 作 0				
特別活動	35	35	0	日 0 生 0 作 0	35	35	0	日 0 生 0 作 0	35	35	0	日 0 生 0 作 0				
自立活動	280	280	0	日 0 生 0 作 0	280	280	0	日 0 生 0 作 0	280	280	0	日 0 生 0 作 0				
総合的な探究の時間	0				0				0							
合計	教科別の指導で行う時数	980				980				980						
	合わせた指導で行う時数	70				70				70						
	総時数	1050				1050				1050						
【指導形態】																
日常生活の指導		0			0			0								
生活単元学習		70			70			70								
作業学習		0			0			0								
合計		70			70			70								

高等部普通科（Ⅱ・Ⅲ課程）

【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	備考
日常生活の指導	国語				
	社会				
	数学				
	理科				
	音楽				
	美術				
	保健体育				
	職業				
	家庭				
	外国語				
	情報				
	道徳				
	ホームルーム				
	自立活動				
合計	0	0	0		
生活単元学習	国語	10	10	10	
	社会	10	10	10	
	数学	10	10	10	
	理科	10	10	10	
	音楽				
	美術	10	10	10	
	保健体育				
	職業	5	5	5	
	家庭	5	5	5	
	外国語	5	5	5	
	情報				
	道徳	5	5	5	
	ホームルーム				
	自立活動				
合計	70	70	70		
作業学習	国語				
	社会				
	数学				
	理科				
	音楽				
	美術				
	保健体育				
	職業				
	家庭				
	外国語				
	情報				
	道徳				
	ホームルーム				
	自立活動				
合計	0	0	0		
合わせた指導 合計		70	70	70	

本科普通科（Ⅲ課程）

日：日常生活の指導 生：生活単元学習 作：作業学習

	教科等		1年					2年					3年					備考
			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			総時数	教科別の指導	合わせた指導			
各学科に共通する各教科	国語		105	0	105	日 80 生 15 作 10	105	0	105	日 80 生 15 作 10	105	0	105	日 80 生 15 作 10	体育理論・保健を含む			
	社会		35	0	35	日 20 生 15 作 0	35	0	35	日 20 生 15 作 0	35	0	35	日 20 生 15 作 0				
	数学		35	0	35	日 10 生 15 作 10	35	0	35	日 10 生 15 作 10	35	0	35	日 10 生 15 作 10				
	理科		35	0	35	日 20 生 15 作 0	35	0	35	日 20 生 15 作 0	35	0	35	日 20 生 15 作 0				
	音楽		50	0	50	日 50 生 0 作 0	50	0	50	日 50 生 0 作 0	50	0	50	日 50 生 0 作 0				
	美術		25	0	25	日 0 生 15 作 10	25	0	25	日 0 生 15 作 10	25	0	25	日 0 生 15 作 10				
	保健体育		20	0	20	日 20 生 0 作 0	20	0	20	日 20 生 0 作 0	20	0	20	日 20 生 0 作 0				
	職業		40	0	40	日 10 生 10 作 20	40	0	40	日 10 生 10 作 20	40	0	40	日 10 生 10 作 20				
	家庭		40	0	40	日 10 生 10 作 20	40	0	40	日 10 生 10 作 20	40	0	40	日 10 生 10 作 20				
	外国語		5	0	5	日 0 生 5 作 0	5	0	5	日 0 生 5 作 0	5	0	5	日 0 生 5 作 0				
	情報		0	0	0	日 0 生 0 作 0	0	0	0	日 0 生 0 作 0	0	0	0	日 0 生 0 作 0				
	学校設定教科		0				0				0							
共通教科時数計		390	0			390	0			390	0							
道徳科		15	0	15	日 10 生 5 作 0	15	0	15	日 10 生 5 作 0	15	0	15	日 10 生 5 作 0					
特別活動	ホームルーム活動	35	35	0	日 0 生 0 作 0	35	35	0	日 0 生 0 作 0	35	35	0	日 0 生 0 作 0					
自立活動		610	490	120	日 120 生 0 作 0	610	490	120	日 120 生 0 作 0	610	490	120	日 120 生 0 作 0					
総合的な探究の時間		0				0				0								
合計	教科別の指導で行う時数		525				525				525							
	合わせた指導で行う時数			525				525				525						
	総時数	1050				1050				1050								

【指導形態】

日常生活の指導	350	350	350
生活単元学習	105	105	105
作業学習	70	70	70
合計	525	525	525

高等部普通科（Ⅲ課程）

【各教科等を合わせた指導における『各教科等の時数』】

		1年	2年	3年	備考
日常生活の指導	国語	80	80	80	
	社会	20	20	20	
	数学	10	10	10	
	理科	20	20	20	
	音楽	50	50	50	
	美術				
	保健体育	20	20	20	
	職業	10	10	10	
	家庭	10	10	10	
	外国語				
	情報				
	道徳	10	10	10	
	ホームルーム				
	自立活動	120	120	120	
<b>合計</b>	<b>350</b>	<b>350</b>	<b>350</b>		

生活単元学習	国語	15	15	15	
	社会	15	15	15	
	数学	15	15	15	
	理科	15	15	15	
	音楽				
	美術	15	15	15	
	保健体育				
	職業	10	10	10	
	家庭	10	10	10	
	外国語	5	5	5	
	情報				
	道徳	5	5	5	
	ホームルーム				
	自立活動				
<b>合計</b>	<b>105</b>	<b>105</b>	<b>105</b>		

作業学習	国語	10	10	10	
	社会				
	数学	10	10	10	
	理科				
	音楽				
	美術	10	10	10	
	保健体育				
	職業	20	20	20	
	家庭	20	20	20	
	外国語				
	情報				
	道徳				
	ホームルーム				
	自立活動				
<b>合計</b>	<b>70</b>	<b>70</b>	<b>70</b>		

<b>合わせた指導 合計</b>	<b>525</b>	<b>525</b>	<b>525</b>	
----------------------	------------	------------	------------	--

専攻科理療科

教科	分野	科目		1年	2年	3年	合計	
理 療	基礎分野	科学的思考の基盤、人間社会	7	表現方法論	2	0	0	2
				情報活用	0	2	0	2
				生物	0	2	0	2
				社会福祉	1	0	0	1
		小計			3	4	0	7
	専門基礎分野	医療と社会	2	医療と社会	0	0	2	2
		人体の構造と機能	12	解剖学	7	0	0	7
				生理学	5	0	0	5
		疾病の成り立ちと予防	4	衛生学・公衆衛生学	0	2	0	2
				病理学概論	0	2	0	2
		生活と疾病	9	臨床医学総論	0	2	0	2
				臨床医学各論	0	4	0	4
	リハビリテーション医学			0	3	0	3	
	小計			12	13	2	27	
	専門分野	基礎理療学	9	東洋医学概論	3	0	0	3
				経絡経穴概論	3	0	0	3
				理療理論	0	0	3	3
		臨床理療学	12	臨床入門	0	3	0	3
				臨床概論	0	0	3	3
				理療臨床論	0	0	6	6
		地域理療と理療経営	2	地域理療と理療経営	0	0	2	2
		理療基礎実習	19	あん摩実技	4	0	0	4
				マッサージ実技	0	3	0	3
				指圧実技	0	1	0	1
				はり実技	4	4	0	8
				きゅう実技	1	0	0	1
				総合実技	0	2	0	2
理療臨床実習	12	理療臨床実習	0	0	12	12		
課題研究	2	課題研究	0	0	2	2		
小計			15	13	28	56		
合計				30	30	30	90	

※ 総合領域 9 単位（基礎理療学 2 実習科目 5 課題研究 2）

専攻科保健理療科

教科	分野	科目		1年	2年	3年	合計	
保健理療	基礎分野	科学的思考の基盤、人間社会	7	表現方法論	2	0	0	2
				情報活用	0	2	0	2
				生物	0	2	0	2
				社会福祉	1	0	0	1
		小計			3	4	0	7
	専門基礎分野	医療と社会	2	医療と社会	0	0	2	2
		人体の構造と機能	16	解剖学	7	3	0	10
				生理学	4	2	0	6
		疾病の成り立ちと予防	4	衛生・公衆衛生	0	2	0	2
				病理	0	2	0	2
		生活と疾病	7	臨床医学	0	4	0	4
				リハビリテーション医学	0	0	3	3
	小計			11	13	5	29	
	専門分野	基礎理療学	9	東洋医学一般	5	0	0	5
				保健理療理論	0	0	3	3
		臨床理療学	12	臨床入門	0	3	0	3
				臨床概論	0	0	2	2
				保健理療臨床論	0	0	4	4
		地域保健理療と保健理療経営	2	地域保健理療と保健理療経営	0	0	2	2
		理療基礎実習	19	あん摩実技	6	2	0	8
				マッサージ実技	3	2	0	5
				指圧実技	0	2	0	2
				総合実技	0	4	0	4
理療臨床実習		12	保健理療臨床実習	0	0	12	12	
課題研究	2	課題研究	0	0	2	2		
小計			14	13	25	52		
合計				28	30	30	88	

※ 総合領域 9 単位（基礎保健理療 2 臨床保健理療 2 実習科目 3 課題研究 2）